

令和6年度以降 府中市立小・中学校の教育課程編成に向けたグランドデザイン

令和6年3月
教育部指導室

国・都・市が目指す児童・生徒像

学習指導要領 前文（平成29年告示）

一人一人の児童（生徒）が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにする

東京都教育施策大綱（令和3年3月）

【「未来の東京」に生きる子供の姿】

- 自らの個性や能力を伸ばし、様々な困難を乗り越え、人生を切り拓いていくことができる
- 他者への共感や思いやりを持つとともに、自己を確立し、多様な人々が共に生きる社会の実現に寄与する

第3次府中市学校教育プラン（令和4年1月）

「目指す人間像」

【人権感覚と規範意識】

他者も自分も大切にする、思いやりと規範意識のある人

【社会的な資質・能力】

社会の一員としての自覚を持ち、社会に貢献しようとする人

【確かな学力】

自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人

義務教育9年間の系統的・継続的な取組により、特に重視して育成を目指す資質・能力

課題を発見し、課題解決に主体的に向き合い、自らの考えを形成するとともに他者と協働しながら合意形成を図り、よりよい自己を実現する力

令和6年度以降の教育活動において特に重視する視点

全ての教育活動において、特別活動の特質や役割を意識し、以下の視点を重視した教育活動を展開する

○発見すること（意欲・好奇心・課題発見力等）

児童・生徒が、主体的に目標や課題を発見し、課題解決や自己実現に向けて見通しをもって、自主的・実践的に学ぶことができるようにする

○対話すること（コミュニケーション力・多様性等）

児童・生徒が、多様な価値観を認め、考えを相互に伝え合い、合意形成を図ったり問題解決を図ったりできるようにする

○決定すること（自己調整力・批判的思考力等）

児童・生徒が、課題解決や自己実現に向けて、集団や自己の状況を把握しながら調整し、方法・目的・結果等を決定できるようにする

○表現すること（実行力・表現力・責任感等）

児童・生徒が、よりよい自己・集団・社会の実現に向けて、言葉や行動で表現できるようにする

令和6年度以降の教育課程編成にあたってのキーワード

「きづく」「つながる」「たかめる」教育の推進